

<第3回地域懇談会でのご意見>

テーマ1 特定利用の是非

- ・特定の愛好者を対象とすると公平性が保てない。
- ・多目的であっても、少年野球やサッカーの様に必要なものは整備してはどうか？
- ・少年少女世代（主にスポーツ利用）、子育て世代、高齢者世代の3世代の利用を考慮すべき。
- ・多目的広場で平日は公園、土日はスポーツの様な運用形態とすると、特定団体が独占的に利用する可能性も考えられる。1ヶ所はスポーツ専用用途の広場を用意した方が、結果的に多様な使われ方をするのではないかな？

⇒結論

- ・野球場のみやサッカー場のみといった特定利用はしないが、各池の地形的特徴を活かして、野球・サッカー兼用等スポーツを出来るように整備する。（例：少年野球はマウンド不要。移動式の検討等も可）

テーマ2 親水空間の整備

- ・水はきれいなのか？（⇒事務局：井戸を掘って自墳式の水路を考えている。）
⇒きれいなのであれば、子供たちが自然の水に親しむ場として親水的利用は重要
- ・親水空間とビオトープは分けて考えるべき。ビオトープは継続的に管理しないと成立しない。
- ・ビオトープは、B池を考えた場合、規模は大きくないし、そこまで重要種も存在しないため、立入禁止までする必要はない。管理も大変である上、景観上も草を刈らないのは良くない。
- ・境川の事例のように、手前は親水空間のエリア、奥は自然度の高いエリアとして整備してはどうか？
- ・川の水を引水して利用することは賛成できないが湧水であれば賛成。
- ・自然に親しませる上では、立入制限はしてほしくない。
- ・セイタカアワダチソウの管理が大変である。その管理を前提条件とするのであれば賛成。
- ・木道を作ったとしてどれくらい利用が見込めるのか？あまり利用が無いものを作るのは反対。
- ・虫や蚊の発生を考えると反対。

⇒結論

自然面での必要性は認めるが、管理が不可欠であるため、今後の管理運営先の件も含めて今後検討を進めることとする。

テーマ3 多目的広場の利用

- ・サイクリングと遊歩道は分離すべきである。（複数意見）
- ・子育て世代の利用とスポーツ利用を分離すべき。（幼児へのけが等を懸念。）
- ・池への駐車場の進入と歩道の動線が重ならないように配慮してほしい。
- ・周辺の遊歩道との一体的な整備をしてほしい。
（⇒事務局：池の天端（4m幅）は管理用通路として整備する。遊歩道としては管理用通路を占用して整備することは可能）
- ・通過交通が無いようにしてほしい。

その他

- ・規制事項はあるのか？
（事務局⇒利用形態の協議時に要検討（例：火の利用、バーベキューコンロ等））
- ・防災の観点から、広域避難所としての利用を視野に入れて整備してほしい。
（事務局⇒水が入る設計のため、安全管理上避難所には向かない）
- ・住民アンケートはしないのか？
（事務局⇒パブリックコメントにて住民意見を聞く予定。）